

鈴木

巻頭
インタビュー

木

スポーツ庁長官

大

地

スポーツによって地域・経済の
活性化を目指していく

聞き手●渡邊直樹 本誌編集長 写真●河野利彦

バサロ泳法でソウルオリンピックク1000m背泳ぎの

金メダリストとなった、あの鈴木大地が初代スポーツ庁長官に就任して2年。

スポーツの効果・価値を高めるために、自ら率先して推進する

プロジェクトについてうかがった。

海・山・川・湖などが
スポーツにとって、地域の宝だ

渡邊 「地域人」の月号では、「スポー
ツによる地域起こし」を特集していま
す。

鈴木 われわれもことあるごとにスポ
ーツが地域を元気にすると言っていま
す。そういう実例を集めた、まんが事
例集を刊行したり、アウトドアスポー
ツの推進をしたり、それから昨年3月
には、スポーツ庁、文化庁、観光庁の
3庁連携で、「スポーツ文化ツーリズ
ムアワード」を設置しました。これは、
各地域のスポーツと文化芸術を結び付
けた新たな観光資源で地域を盛り上げ
ていこうという一つのシンボリックな
賞なのです。

スポーツビジネスも振興しており、
今5・5兆円のスポーツ産業規模を
2025年までに15兆円にするとい
う高い目標で動いています。そのうちの
一つの柱が、スタジアム・アリーナ改
革です。これから全国に約20カ所のス
タジアムやアリーナを造って、いこうと
いう目標を掲げています。これはいわ
ゆるハコモノなので、お金と時間もか
かる。それも着実に進めていきますが、
同時にお金が掛からないスポーツ振興
は何かと考えたときに、アウトドアス



スポーツ庁長官室で。